



実用新案登録願(2)後記号なし

昭和52年12月23日

特許庁長官殿

1. 著者の名称

聴診器ヘッド

2. 住 所

静岡県駿東郡小山町須走下原495-20

住所

氏名

高橋勝

(外名)

3. 實用新案登録出願人

住所

東京都大田区東馬込1丁目7番9号

(所在地)

氏名

ムサシノ電子工業株式会社

(名称)

(代表者)

(固有名)

代表取締役 若林好一

(外名)

4. 代 理 人

住所

〒101 東京都千代田区東神田2丁目1番1号

氏名

第6411分 弁理士 磯野道造

電話東京(03)866-9320(代表)866-1638(代表)

5. 申付書類の目録

- (1) 明細書
- (2) 図面
- (3) 委任状
- (4) 領書原本
- (5) 出願審査請求書

1通
1通
1通
1通
1通

但し、委任状は同時に提出した実用新案登録願(1)の審査の原本を
~~記載以外の考案者、実用新案登録出願人または代理人~~ 授用する。

54-99390

52 173827

審査用
審査用

明細書

1. 考案の名称

聴診器ヘッド

2. 実用新案登録請求の範囲

隔膜保持環に形成した隔膜露出窓の外周縁附近と対峙するマイクロホン端面に、環状の突条体を設けたことを特徴とする聴診器ヘッド。

3. 考案の詳細な説明

この考案は、隔膜の肌当有効範囲を最大限拡げ、体内に起る音響（呼吸音、胸膜音、心音及び動静脈音等）を効果的に聴診することができる構造とした聴診器ヘッドに関するものである。

すなわち、この考案に係る聴診器ヘッドは、隔膜保持環に形成した隔膜露出窓の外周縁附近と対峙するマイクロホン端面に、環状の突条体を設け、マイクロホンに隔膜保持環を装着時、隔膜が突条体に下方より押圧されて隔膜露出窓より上面を突出するようにしたものである。

以下、この考案の一実施例を図面に基づき説明すると、この実施例の聴診器ヘッド1は公知

第

のものと同様に、一側に大口径のベル形マイクロホン2を、又他側に小口径のベル形マイクロホン3をそれぞれ一体に設け、且つマイクロホン2及び3には、隔壁4、5を嵌め込み接着した隔壁保持環6、7がその内周面に形成したねじ部6a、7aをマイクロホン2、3の外周面に形成したねじ部2a、3aに螺着して接着されている。

そして、ここでは隔壁保持環6、7の隔壁露出窓6b、7bの外周縁附近と対峙するマイクロホン2、3端面に、環状の突条体2b、3bを一体形成している。

なお、前記隔壁4、5は、第4図に示すように、フィルム状のポリエスチル樹脂製外装材8と、この外装材8の内面に貼着したフィルム状のポリエスチル製繊維材9により構成されている。

10はヘッド1の中央に摺動及び回転自在に接着され、摺動、回転せしめることによつてマイクロホン2、3の中央に設けられた透孔1aと個別に連通せしめ、且つその後端に、図示しない

耳管を有するY字管11を取り付けた管状の導音軸である。

このように、構成されているので、マイクロホン2、3に隔膜保持環6、7を螺着すると、隔膜4、5は突条体2b、3bに下方より押圧されて隔膜露出窓6b、7bより、第3図に示す如く、その上面が突出した状態となる。

以上のように、この考案に係る聴診器ヘッドは、隔膜保持環6、7に形成した隔膜露出窓6b、7bの外周縁附近と対峙するマイクロホン2、3端面に、環状の突条体2b、3bを設けた構造としたので、マイクロホン2、3に隔膜保持環6、7を螺着すると、実施例で述べたように、隔膜4、5は突条体2b、3bに下方より押圧されて隔膜露出窓6b、7bよりその上面が突出した状態となるものであるから、使用時、隔膜4、5は可能な範囲最大限机に触れることができるので、従来構造のものに比し、極めて効果的に体内に起る音響を聴診することができる。

そしてまたこの考案は、更に隔膜を実施例で

示したフィルム状の樹脂製外装材8と、この外装材8の内面に貼着したフィルム状の繊維材9により構成したものを使用すると、この構造による隔壁は極めて高い感度が得られるので、聴診効能を非常に高めることができ、単に環状の突条体を設けるのみで簡単容易に実現するこ^トができることと相俟つて、实用上聴診器ヘッドの構造として非常に価値の高いものである。

なお、この考案の突条体は実施例のものに限らず、例えば、マイクロホン端面に環状溝を設けて、この環状溝に嵌め込むOリングでもよく、要は实用新案登録請求の範囲に記載の技術思想を逸脱しない範囲内であれば種々設計的変更あるは勿論である。

4. 図面の簡単な説明

第1図はこの考案の一実施例の一部を切欠した側面図、第2図はその一部を切欠した平面図、第3図は要部拡大断面図、第4図はこの実施例で使用した隔壁の一部を切欠した平面図である。

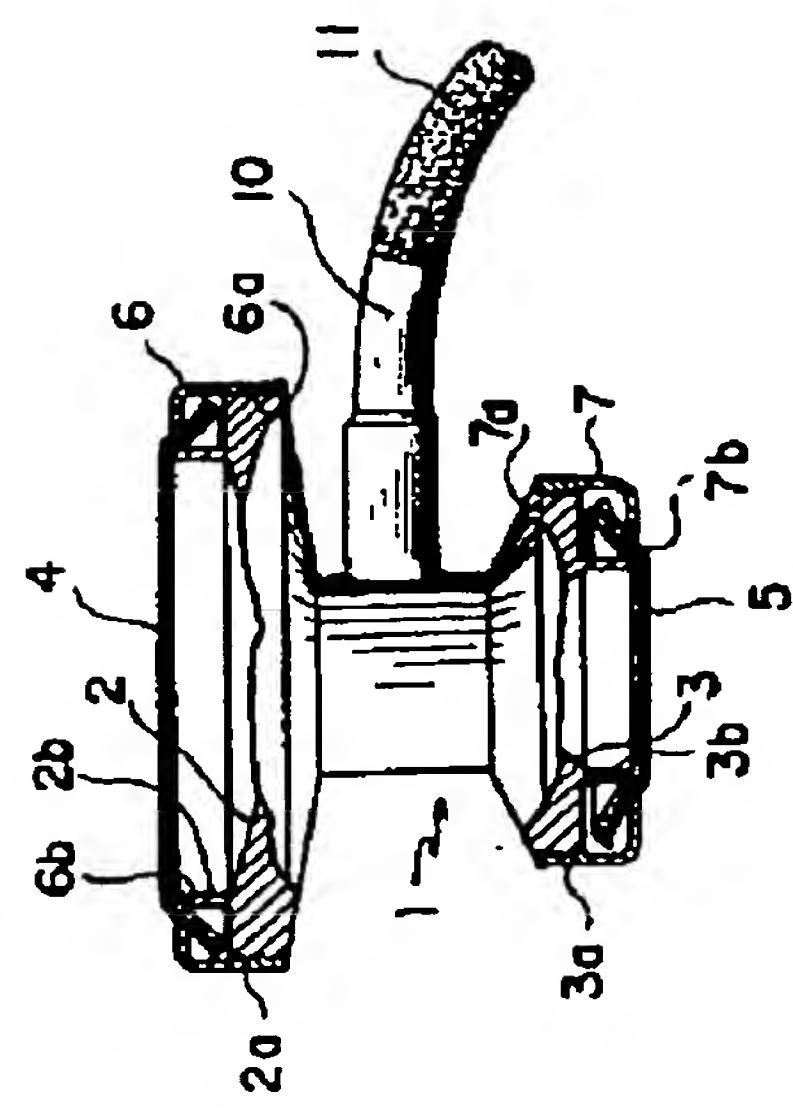
1…聴診器ヘッド、1a…透孔、2、3…マイ

クロホン、2a、3a…ねじ部、2b、3b…突条体、
4、5…隔壁、6、7…隔壁保持環、6a、7a…
ねじ部、6b、7b…隔壁露出窓、8…外装材、9
…繊維材、10…導音軸、11…Y字管。

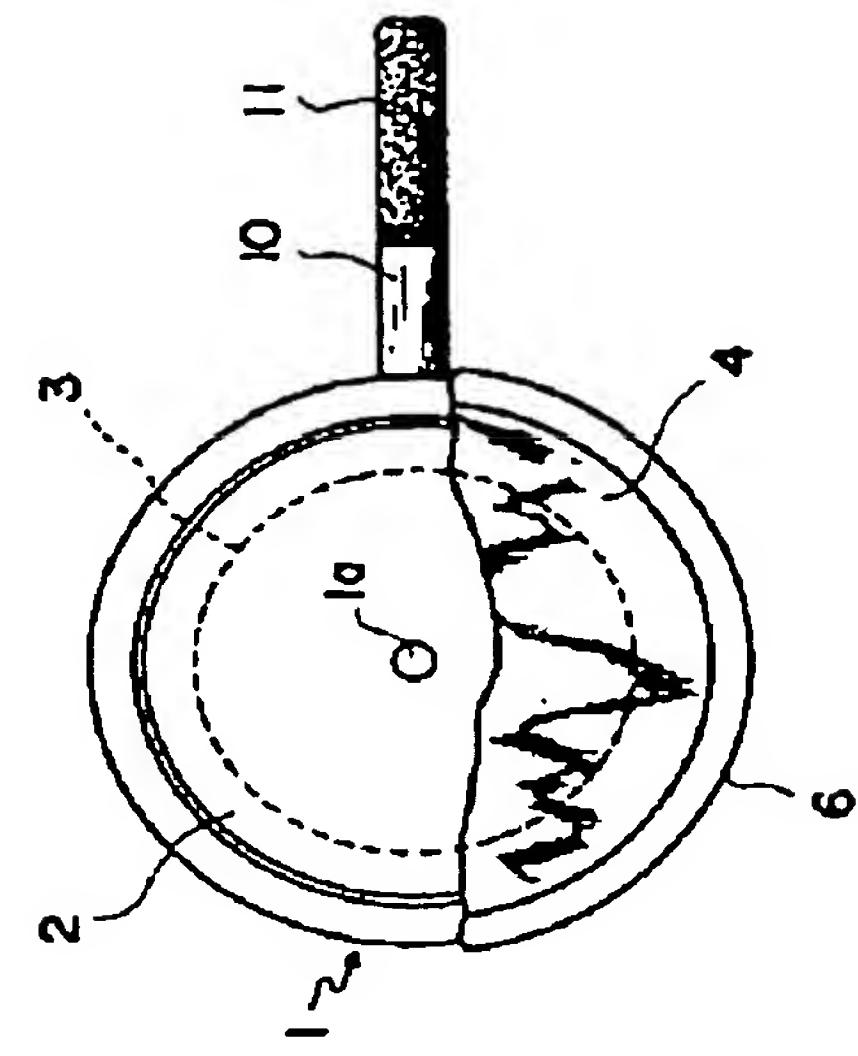
実用新案登録出願人 ムサシノ電子工業株式会社

代理人弁理士 機野道造

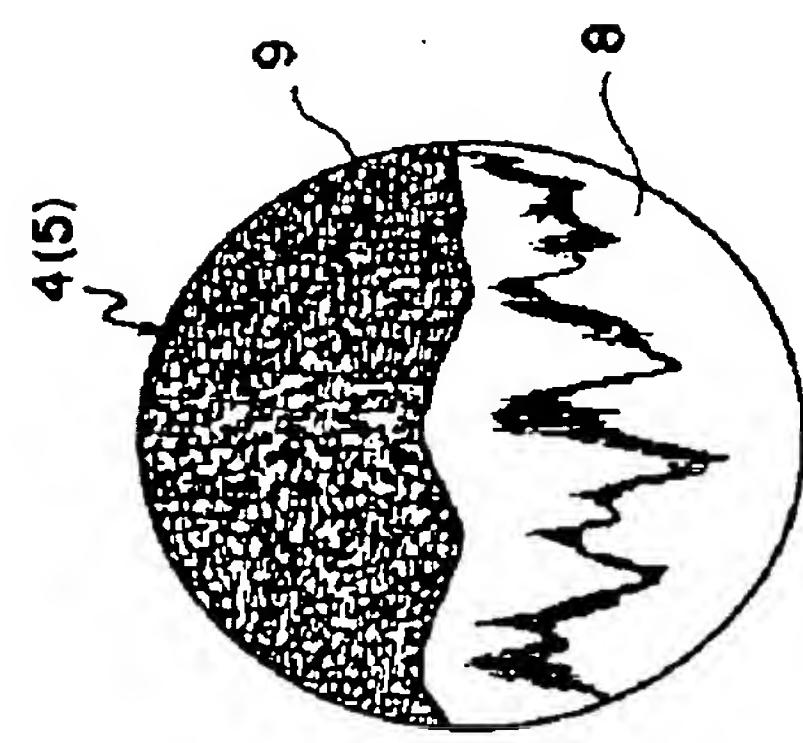
第1図



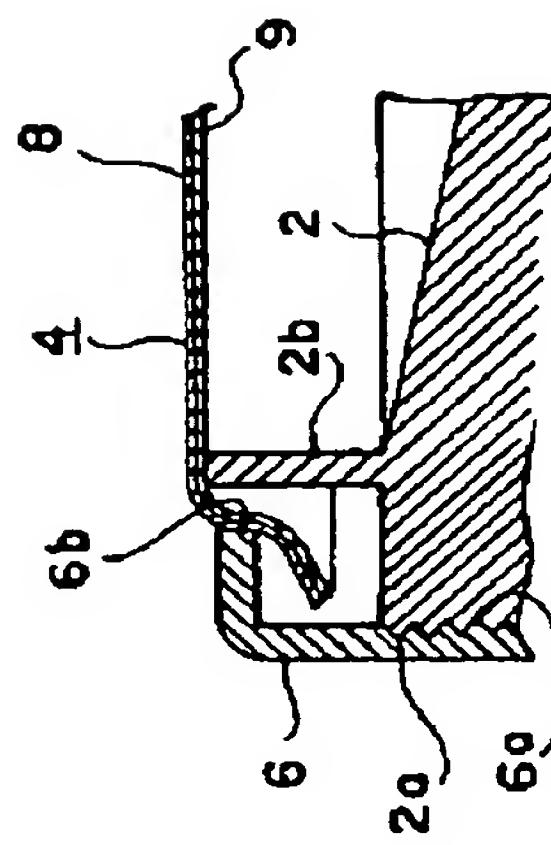
第2図



第3図



第4図



第5回
カシマ電子工業株式会社

明治

代理人 手澤七
代筆人

99390